

◎はじめにお読みください。

- 本紙に記載された内容は製品の仕様、付属品の変更によって変更される場合がございます。
記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。
当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。
- 本製品の耐荷重は開発時試験環境下での確認であり、使用時全ての状況での動作を保証するものではありません。
- 本製品の組み立て、調節には付属品以外の工具が必要になる場合がございます。
本紙内には付属しない製品の画像や用語を記載することがありますが、付属品については本紙の付属品欄に記載がある物のみとなります。
- 組み立て時は素手ではなく滑り止め / 保護用の手袋を使用いただくことお勧めいたします。
- 他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般的に各社の登録商標または商標です。

最後に、本製品をご購入いただきましてありがとうございます。

本マニュアルの最新版は弊社HPの本製品ページに掲載されております。

右上のVerをご確認の上、弊社HPに掲載されているVerの方が新しい場合は、そちらをご確認の上、組み立てを行ってください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐため必ずお守りいただくことを記載しております。

	危険 死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。
	警告 死亡または重傷を負う恐れがある内容です。
	注意 軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある内容です。
	気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	してはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた直接的、間接的損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き当社は一切その責任を負いませんので予めご了承ください。

製品仕様

シリーズ名	Monitor Arm Basic
対応規格	VESA 75 x 75mm / 100 x 100mm
対応モニターサイズ	最大 32 インチまで
耐荷重	最大 8 kgまで
可動範囲	回転 : 360° (+180° / -180°) パン : 90° (+45° / -45°) チルト : 90° (+45° / -45°)
本体サイズ	約 W340 x D200 x H420~610 mm
重量	約 4.4 kg
素材	スチール / プラスチック
保証期間	ご購入日より1年間 (保証書必要)

※可動範囲は取り付けるモニターサイズによって異なります。

サポート / 連絡先

販売元

株式会社 アーキサイト

〒110-0006
東京都台東区秋葉原 5-9 明治安田生命秋葉原ビル
URL : <http://www.archisite.co.jp>
サポートダイヤル : 03-6859-0284
受付時間 10:00~12:00・13:00~17:00
(弊社指定定休日・年末年始・土日・祝祭日を除く)

危険

- 本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。事故や破損の原因となります。
- 本製品の分解、改造を行わないでください。事故や破損の原因となります。
また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- 本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。事故や破損の原因となります。

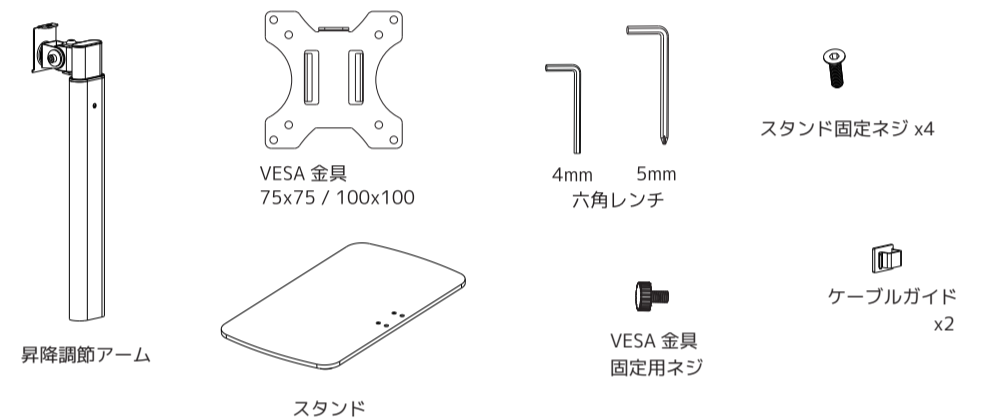
警告

- 本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、一旦使用をやめて各部に破損がないかを確認してください。そのまま使用を続けると破損や事故の原因となります。
- 水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- 液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- 濡れた手で本製品に触らないでください。
- 小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置・放置しないでください。
- 本体にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 本製品を取り付けや設置に関しては本マニュアルに記載されている通りに行ってください。
また、取り付け後は、そのままデスクを動かさないでください。
- 本製品を振動のある場所で使用しないでください。

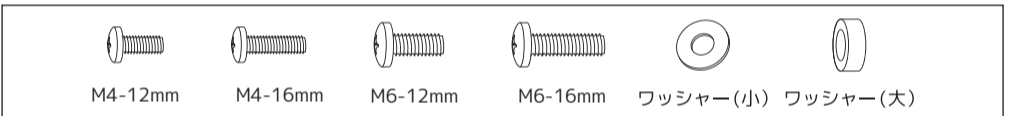
注意

- 本製品の耐荷重は8kgです。8kgを超える機器を取り付けしないでください。
- 本製品の対応インチは目安です。耐荷重を確認し、8kg以下の機器を取り付けてください。
- 以下のような場所で使用、設置をしないでください。破損や故障の原因となります。
 1. 強い磁界が発生するところ
 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
 3. 水や水場の近辺
- 有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ネジや各種部品は接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ネジ、ストッパーは付属の部品を使い、しっかりと固定してください。
- ネジやストッパーは時間経過とともに緩みおきます。定期的に固定がされているかを確認してください。
- 取り付けるモニタの重量バランスによってはモニタを縦で使用する時に、重量が重い方に傾く可能性があります。

1 付属品一覧

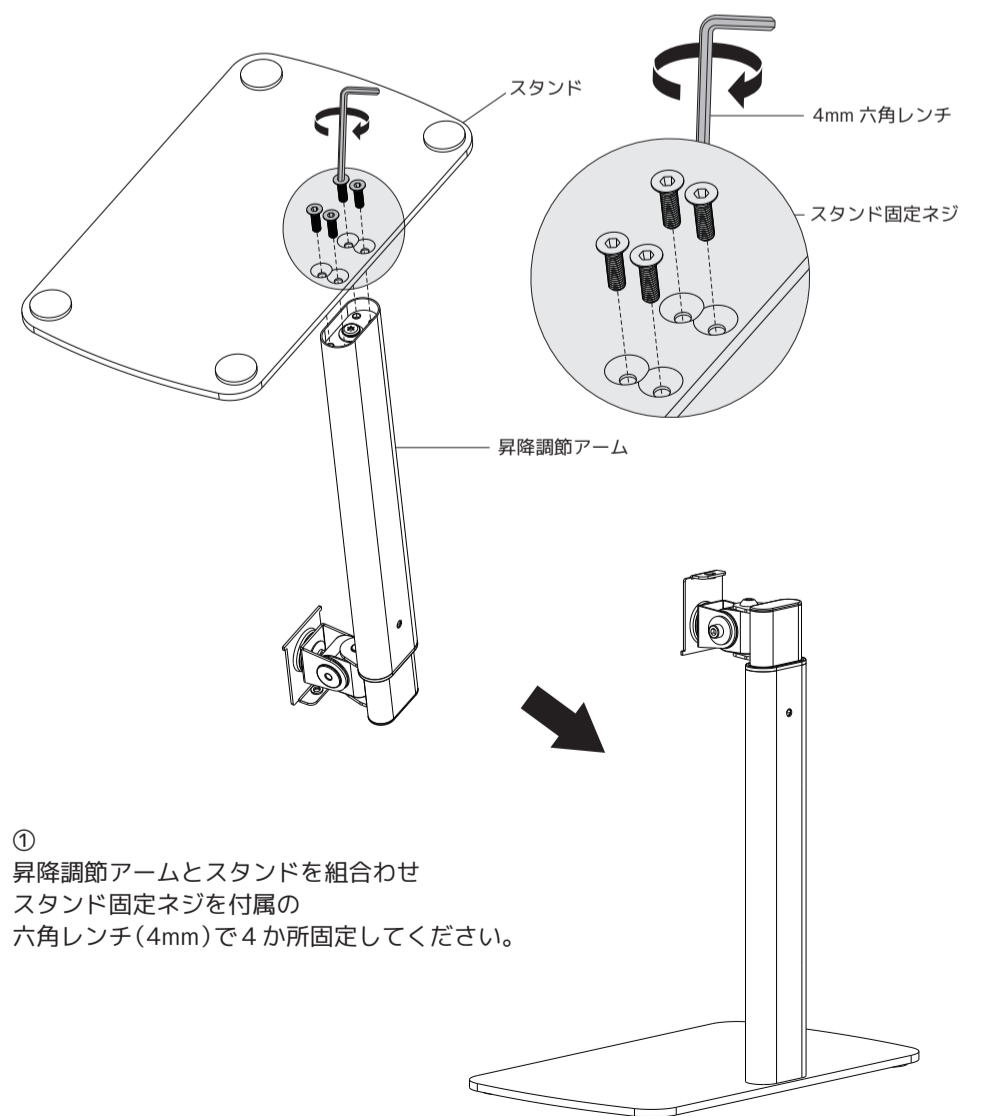


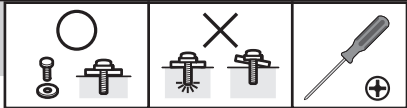
ネジ/ワッシャー (各4pcs)



2 スタンド組み立て方法

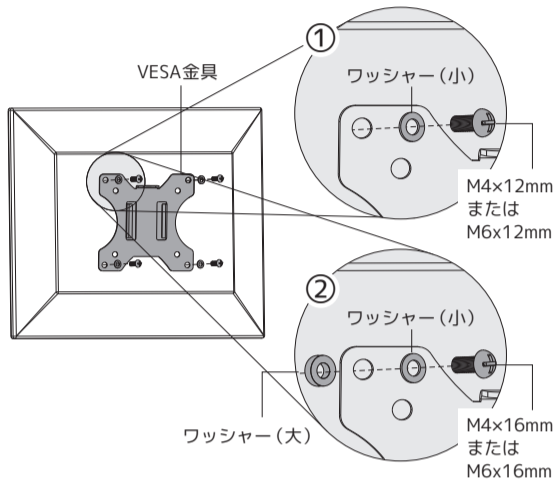
下図をご確認の上、下記の手順で組み立ててください。





下記の1-4の注意事項をご確認の上、VESA金具固定ネジが上にくるようにして、VESA金具を取り付けてください。お使いのモニタに合わせて、ネジの径(M4またはM6)とネジの長さ(12または16mm)をお選びください。※一般的にはM4-12mmです。

1. ネジは75x75/100x100 モニタに対応するそれぞれの一般的なネジを付属しております。付属のネジが合わない場合は、ネジの強度に十分注意の上、市販の対応するものをご購入ください。
2. 使用するネジはご使用されるモニタによって異なります。取扱説明書を確認したりメーカーに問い合わせる等、取り付け可能なネジの情報を入手してから取り付けてください。
3. 本製品はVESA取り付け面が平らなモニタ用に作られています。曲面モニタ等、VESAの取り付け面が平らではないモニタは使用できないことがありますので、お取り付け前に取り付け面をお確かめください。
4. ネジの取り付けが強すぎるとモニタを破損し、弱すぎると固定がしっかりできず脱落する恐れがあります。また、取り付け時のモニタやネジの破損については弊社は一切の責任を負いかねますので、取り付け時は慎重に作業をしてください。



【VESA金具取り付け例】

①12mmのネジを使用

12mmのネジで金具を止める際は、ネジを締めすぎないように付属のワッシャー(小)をご使用ください。

②16mmのネジを使用

16mmのネジで金具を止める際は、付属のワッシャー(小)と、ワッシャー(大)をご使用ください。

※ネジを止める際はネジを締めすぎないようにご注意ください。

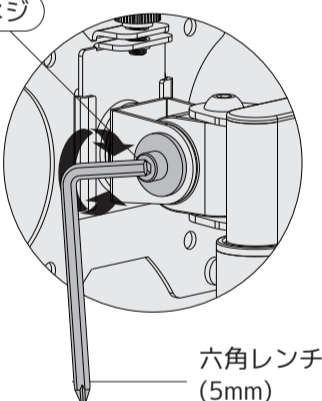


製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障の場合は弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

4 モニタの重量/チルト調節

モニタを取り付ける前と後には、必ずチルト角のネジ調節を行ってください。

チルト角調整ネジ



六角レンチ (5mm)



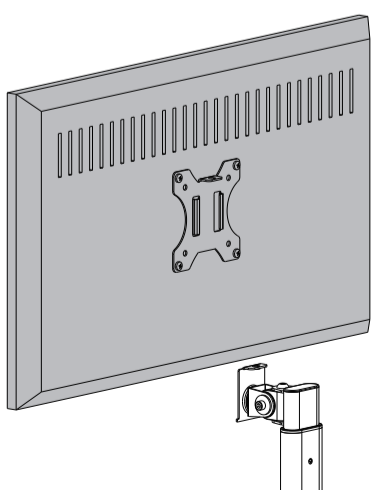
緩みがないよう、しっかりと固定してください

- ・ 本製品の関節部分は左図のチルト角調整ネジのみ調節が可能です。(モニタを支える部分です。基本的には締める形になります)
- ・ その他の六角レンチネジは、モニタを取り付けた際に脱落しないよう、ネジロック材等でしっかりと固定されています。
- ・ モニタを取り付ける前に(もしくは取り付け後、前に傾くようであれば)取り付けたモニタが傾かないよう六角レンチ(5mm)を使用し、しっかりと締めつけてください。
※取り付けのモニタが27インチ以上、4~5kg以上の場合、基本的にネジを締める必要があります。
- ・ 締め付けが緩いとモニタが急に倒れる可能性がありますのでご注意ください。

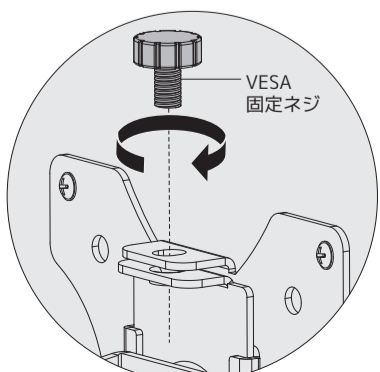
5 モニタ取り付け方法



VESA金具を固定したら、下図をご確認の上、アームにモニタを取り付けてください。



- ①VESA金具のスライドとスタンド側のスライドを合わせ、上から取り付けください。
※2人で取り付けることを推奨します。
- ②VESA金具側とスタンド側の固定用ネジ穴を合わせ、付属のVESA金具固定用ネジで固定してください。
- ③取り付け後、前に傾くようであれば六角レンチ(5mm)を使用し、チルト角調整ネジをしっかりと締めつけてください。

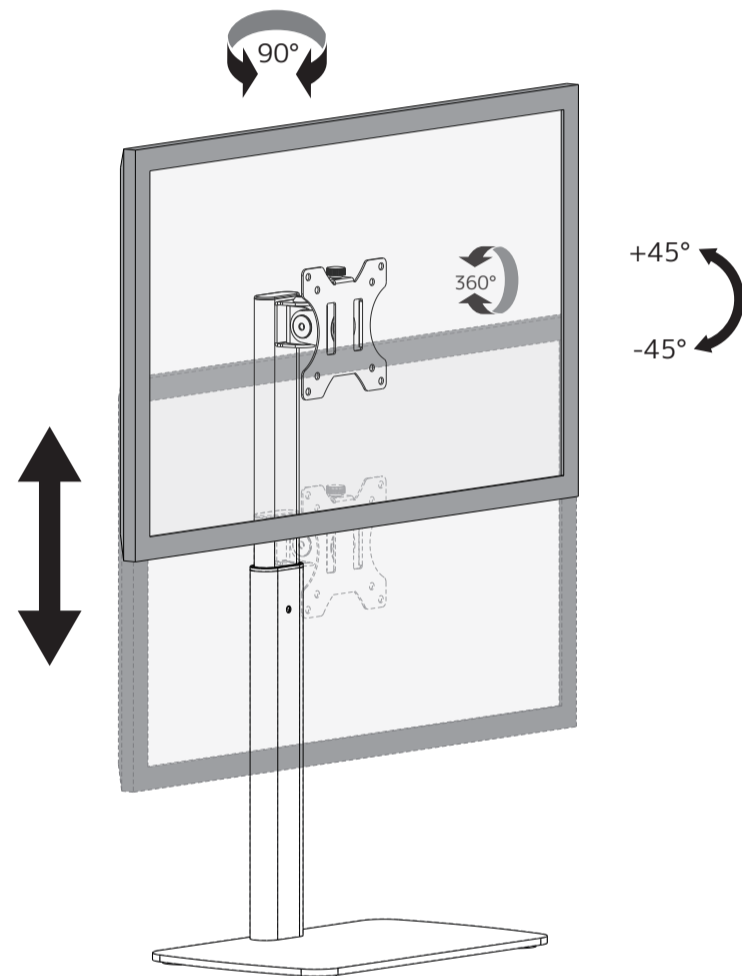


緩みがないよう、しっかりと固定してください

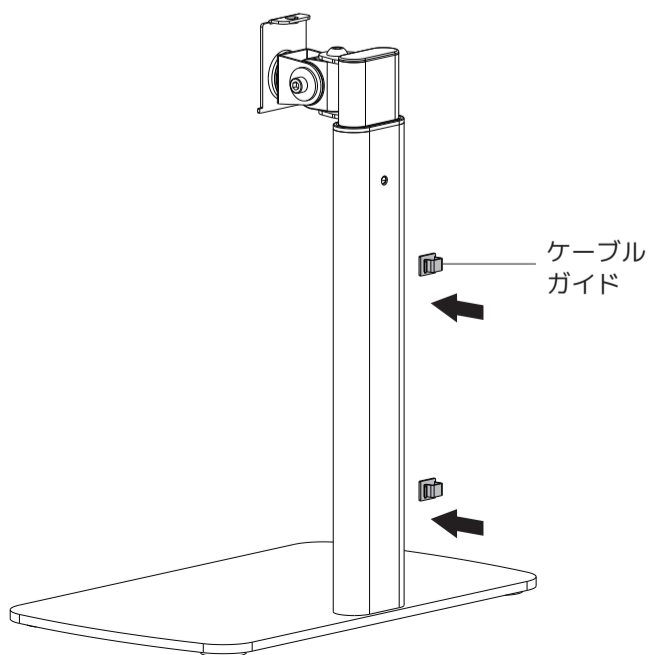


モニター昇降時の注意事項

1. モニタの高さを上げる場合はモニターの下枠を手で支え、上にあげてください。その際に画面部分を持たないように注意してください。画面が破損する可能性があります。
2. 昇降幅は約2cmずつ、最大で10段階上がります。1段階上がる毎にカチッという音が鳴り、段階が上がっていきます。カチッと音が鳴った状態で手を離すと現在のロック場所でモニターの高さが維持されます。
3. 最大まで上げた状態で更にモニターを上げるとロック機能が外れ、モニターを一番下まで下げることができます。この際、ロックが外れておりますのでモニターをしっかり支えないと一番下まで一気に下がりますので非常に危険です。モニターを下げる際はしっかりと手でモニターを支えながら行ってください。
4. モニターを下げた場合は必ず一番下まで下げてください。一度モニターを下げ始めた場合は一番下まで下げないと再度上げてもロック機能が働きません。ガチッという音がなったら一番下まで下がった合図ですので必ずその音を確認してから再度モニターを上げ始めてください。



本製品は上図のように回転、パン、チルトで可動しますがご使用可能な範囲については取り付けのモニターサイズや重量、モニターの重量バランスによって異なります。可動させる範囲に関してはご自身の責任の上、危険がないと判断できる範囲内で、ご使用ください。



付属のケーブルガイドは左図を参考に、お好きな位置に貼り付けてご使用ください。

ケーブルガイド